

1. 研究者になろうとしたきっかけ

通常のケアでは解決できない苦痛を持つがん患者の方々に繰り返し出会ったことをきっかけに、解決の方法をもっと学びたいと大学院への進学を決めました。そこで根拠をもって現象を説明できる研究の明瞭さに魅せられました。

2. 助成研究の内容紹介

がん体験者の方々が上手に自己管理を行いながら健康な生活を送れるように、がんに関する健康教育やヘルスチェックを組み入れた継続支援プログラムをオンラインにより提供し、その効果をQOL(生活の質)の視点から評価する研究です。

3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

健康と生活の結びつきについて考えながら自分に合った健康管理法を工夫し実行できる自分づくりができる環境をがん体験者の方々に提供できることを目指します。

4. 全国のRFL関係者に一言

命を与えられたことに感謝し、前を見て共に生きていきたいです。